

DIGITAL MEDIA AND THE 2016 U.S. PRESIDENTIAL ELECTION

日時: 2016年12月16日(金)午後6時~7時40分 (午後5時半開場)

場所: 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン308E 教室

講演: Dr. Diana Owen, Georgetown University

講演, 討論は英語で行われます(通訳なし) 参加費無料

開催趣旨

2016年アメリカ大統領選挙は、多くの研究者やメディアも予想していない結果となった。なぜ世論調査で優勢だった民主党ヒラリー・クリントン候補ではなく、共和党ドナルド・トランプ候補が当選したのか。世論調査はもはや当てにならないのか。連日様々な角度からの検討がメディアで行われている。その中で、非常に重要な視点の一つがデジタルメディアの影響である。トランプ次期大統領本人がCBSの看板ニュース番組で、ソーシャルメディアの活用が自身を勝利へ導いたと語っているほどである。そこで、本研究会では、アメリカ政治とメディアの研究で評価の高いダイアナ・オーエン先生をジョージタウン大学からお迎えし、2016年大統領選挙において、デジタルメディアがどのように活用されたのか、という点を検討したい。



講演要旨

Digital media play an increasingly important role in American elections. This talk will examine how the candidates, news organizations, and voters used digital media in the 2016 campaign. Hillary Clinton had a digital team of over 100 people who were constantly channeling her message in multiple languages. Insulting tweets by Donald Trump drove the news cycle for days. News organizations relied heavily on information from the Internet for their stories. Voters tuned into social media and online sources in unprecedented numbers to learn about the campaign. The implications of these trends in 2016 and beyond will be discussed.



討論者: 前嶋和弘 (上智大学教授)

司会: 清原聖子 (明治大学准教授)

主催: 明治大学国際連携本部

共催: 情報通信学会インターネット政治研究会

連絡先: 清原研究室 (kiyohara@meiji.ac.jp)